

木古内「咸臨丸とサラキ岬に夢みる会」

手づくり郷土賞 受賞

国土交通省の2010年度「手づくり郷土賞」受賞団体が発表され、道内からは木古内町の「咸臨丸とサラキ岬に夢みる会」と、北広島市の「共栄パークゴルフコミュニティクラブ」が選ばれた。



サラキ岬の花壇にチューリップの球根を植える「夢みる会」の会員ら（昨年10月撮影）

同賞は、社会資本とかかわりをもつ、優れた地域づくりの取り組みを表彰するもので、今年度で25回目。今回は全国で25件（一般部門22件、大賞部門3件）が選ばれた。道内の2団体はともに一般部門で受賞した。

木古内町サラキ岬沖合で1871年、旧幕府の軍艦「咸臨丸」が座礁、沈没した。「夢みる会」（会員約500人）は2004年に発足し、咸臨丸の歴史や自然豊かなサラキ岬を核とした交流観光の拠点づくりをしている。花壇造成、咸臨丸モニユメントの整備、各種イベントの開催などを通じて地域の活性化に寄与している。

夢みる会の久保義則会長は「汗水流してコツコツと町おこしに取り組んだことが認められ、大変うれしい。」

手づくり郷土賞 夢見る会に伝達

木古内

【木古内】個性的なまちづくり活動に贈られる国土交通省の「手づくり郷土賞」を受賞した「咸臨丸とサラキ岬に夢見る会」（久保義則会長）の表彰式が8日、町役場で行われた。



同会は2004年に町民有志が発足。江戸幕府の軍艦、咸臨丸が町内のサラキ岬沖に沈んだ歴史を観光に生かそうと、岬の整備や毎年5月のチューリップ祭り開催などに取り組んできた。

表彰式では、開発局長の高松泰局長が久保会長らに表彰状と記念品の盾を手渡し、「住民がゼロから始めた貴重な活動。地道な努力の積み重ねに敬意を表したい」とあいさつ。

久保会長は「何もなかった岬を手づくりで整備してきた私たちにぴったりの賞。木古内の観光拠点になるよう、これからも頑張りたい」と笑顔で話していた。（大城道雄）高松局長から表彰状を受け取る久保会長（右）

表彰大臣交国

咸臨丸とサラキ岬に夢みる会 手づくり郷土賞受賞

【木古内】国土交通省は12日、本年度の国土交通大臣表彰「手づくり郷土（ふるさと）賞」の受賞団体を発表した。道内からは木古内町のまちづくり団体「咸臨丸とサラキ岬に夢みる会」（久保義則会長）などが2団体。道南で受賞したのは、2006年度の「函館野外劇の会」以来、4団体目。

受賞理由で「住民自らが考え行動し観光交流拠点として整備し、地域の活性化に寄与している」と住民のボランティア活動を高く評価した。同会は、2004年10月に発足。サラキ岬沖で座礁、沈没した幕末の軍艦「咸臨丸」

をまちづくりに結びつけようと活動している。国道228号沿いにあるサラキ岬の公園の整備は、住民有志のボランティアに支えられてきた。これまで同艦の模型設置や花壇整備を行い、5月初旬に開いているチューリップ祭りには多くの観光客が訪れるようになった。

2011. 1. 13(函館新聞)

め汗を流したい」と気持ち新たにしている。また、今年と同艦が沈没してから140年の節目で、9月には同艦にゆかりのある自治体の関係者を招き、「咸臨丸サミット」開催を予定して

いる。多田賢淳事務局長は「手作りの活動が評価されうれし。サミット開催に向けて受賞は弾みになる」と話している。認定証の授与式は2月8日に町役場で行う予定。

(松宮一郎)

木古内「夢見る会」に手づくり郷土賞

「みんなの苦労報われた」

「咸臨丸」観光など まちづくり評価



2011. 1. 14(北海道新聞)

【木古内】町内のサラキ岬沖で座礁した江戸幕府の軍艦「咸臨丸」の観光資源化に取り組む市民団体「咸臨丸とサラキ岬に夢見る会」（久保義則会長）が、国土交通省の「手づくり郷土賞」を受賞した。今年に咸臨丸座礁140

0周年の節目で、会員は活動に弾みがつくと喜んでいる。同賞は個性的なまちづくり活動に取り組みする市民団体と、道内は全国の25団体、道内2団体が選ばれた。「夢見る会」は2004年に町民ら100

人余りで発足し、現在の会員数は約500人。サラキ岬に咸臨丸のミニチュアを設置したり、毎年5月に岬

で「チューリップ祭り」を開いたり、手弁当のPR活動を続けてきた。久保会長は「一人でも多くの人に岬を知ってもらおうと、みんなで汗水流して頑張ってきた。苦労が報われて本当にうれしい」と満面の笑みを見せた。

授賞式は2月8日、木古内町役場で行われる予定だ。

(大城道雄)